

施設状況票【病院】 記入要領

社会福祉法人以外の方はI-A 、社会福祉法人の方はI-A が出力されます。社会福祉法人の方は8頁以降をご参照ください。

施設状況票では、施設の概要、利用者の利用状況、職種別の従事者の状況等について、ご報告いただきます。

施設状況票のExcelファイルはマクロを含んでいますので、初めにマクロを有効化してご使用ください。

入力前に「施設状況票入力にあたってのお願い」（赤枠）の内容をご確認ください。また、設問ごとに入力セルの横や項目名の横に注釈（赤枠）を記載していますので、併せてご参照ください。

施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。薄いオレンジ色のセルが入力可能なセルです。また、セルのコピーアンドペースト（貼り付け）を使用するとファイルが使用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

1. 施設の概要

【医療機関等コード】

保険医療機関コード（10桁）を入力してください。（赤枠）

都道府県番号（2桁）＋点数表番号（1桁）＋医療機関番号（7桁）の10桁となります。

【期中の開設・廃止等】

期中に開設、休止、廃止、譲渡した場合のみ、選択肢から選んで入力してください。重複する場合は、選択肢の数字が大きいものを優先して入力してください。

（例）期中に開設し、譲渡した場合は、「4」譲渡と入力します。

2. 利用状況

【入院】

区分（医療法第7条に基づく病床の種別（一般病床、療養病床、精神病床、結核病床、感染症病床））ごとに入力してください。（赤枠）

【病床数（期首）】

病床数の変更に関わらず、期首の病床数を入力してください。

【会計期間内の病床数の変更】

会計期間内に変更があった場合は「1」を入力し、[変更時期（西暦）]、[変更後病床数（期末）]を入力してください。

【変更後病床数（期末）】

病床数の変更に関わらず、期末の病床数を入力してください。

【在院患者延数（年間）】

会計期間内の入院料ごとに、診療報酬請求の元となった人数を入力してください。

【新入院患者数】・[退院患者数]・[転床患者数]

年間の実人数を入力してください。また、合計欄は後述する【基本診療科別の内訳】、【入退院経路の状況】の内容と一致します。入院してその日のうちに退院した患者も含まれます。

[転床患者数]については、同一医療機関内で区分が変わる患者数を入力してください。同じ区分内の移動は、[転床患者数]に含めません。

【入力例】

医療施設（病院）施設状況票（医療法人等）

（入力例のPDFはこちら）

法人名 (個人事業主の場合は氏名)	医療法人 神谷会	年度 2022	観客コード 99999	拠点コード 001	施設票番号 001	I-A①
----------------------	----------	------------	----------------	--------------	--------------	------

施設状況票入力にあたってのお願い

- 施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。また、入力されている内容が誤っている場合は修正してください。
- 各項目の記入にあたり、指定がない場合は、会計期間末日の状況をご記入ください。
- 一つの建物で複数の事業を行っている場合など、事業ごとに按分が必要な場合は各事業で調整してください。また、同じ職員が複数事業で勤務している場合などは、勤務時間や人件費等で従事者数を按分してください。
- 患者数について、指定がない場合は実人数ではなく延人数（患者1名が2日入院した場合や2回外来を受けた場合は2人）で入力してください。

作成担当者	医療 花子	電話番号	00-0000-0000	※14桁以内の半角数字とハイフンで入力してください。	FAX番号 (任意)	00-0000-0000
-------	-------	------	--------------	----------------------------	---------------	--------------

1. 施設の概要

施設名	神谷町病院										医療機関等 コード	1234567890				
施設の所在地	郵便番号	150-0000		※3桁の半角数字とハイフンと4桁の半角数字の郵便番号を入力してください。(例:105-8486)												
	住 所	東京都港区虎ノ門4-3-13														
開設年月日	西暦	1980	年	4	月	1	日	指定管理者の指定		※行政から指定管理者として指定を受けて施設を運営している場合は「1」を入力してください。						
土地・建物の所有状況	※次の選択肢1～4からお選びください。(選択肢: [1] 法人所有 [2] 全て賃借(借地) [3] 一部賃借(借地) [4] その他)															
	土地の所有状況	1		建物の所有状況						1						
公有地等の状況	※土地(建物)の一部に公有地(公設の建物)を含む場合は「1」を入力してください。															
	公有地の有無			公設の建物有無												
建物の延床面積	10,500		㎡		※一つの建物で複数の事業を行っている場合は当該事業に使用している面積を入力してください。											
全面建替の竣工時期	西暦	2015	年	1	月	※開設から全面建替を行っていない場合は空欄にしてください。 また、複数回行われている場合は直近の竣工時期を記入してください。										
会計期間	西暦	2022	年	4	月	1	日	～	西暦	2023	年	3	月	31	日	※この施設状況票が報告する会計期間を入力してください。
期中の開設・廃止等		※期中に「開設」・「休止」・「廃止」・「譲渡」した場合は最も適当なものを次の選択肢1～4からお選びください。重複する場合は数字が大きいものを優先してください。(選択肢: [1]開設 [2]休止 [3]廃止 [4]譲渡)														

2. 利用状況

【入院】 ※【入院】における「変更後病床数(期末)」、「在院患者延数(年間)」、「新入院(年間)」、「退院(年間)」の合計欄は、【基本診療科別の内訳】における「病床数」、「入院基本科等別在院患者延数(年間)」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数										入院患者数						
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内 の病床数の 変更 (0:無・1:有)		変更時期(西暦) 会計期間内の変更が 「1:有」の場合のみ入力		変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)				
			新入院患者数	転床患者数	退院患者数	転床患者数											
一般	180	床		1	2022	年	8	月	200	床	70,560 床	63,020 人	89.3%	3,895 人	477 人	3,658 人	550 人
療養	100	床	20			年		月	100	床	36,500 床	35,200 人	96.4%	56 人	23 人	60 人	15 人
精神		床				年		月		床	0 床		0.0%	人		人	人
結核		床				年		月		床	0 床		0.0%	人		人	人
感染症		床				年		月		床	0 床		0.0%	人		人	人
合計	280	床	20 床						300	床	107,060 床	98,220 人		4,451 人			4,283 人

[基本診療料別の内訳]

[入院]にて入力いただいた内容の詳細を[基本診療料別の内訳]に入力します。

[入院]における各区分の[変更後病床数(期末)]、[在院患者延数(年間)]、[新入院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数、[退院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数が[基本診療料別の内訳]における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数(年間)]、[新入院・転床患者数(実人数)]、[退院・転床患者数(実人数)]の小計と一致するように入力してください。(青枠)

また、[入院]における[変更後病床数(期末)]、[在院患者延数(年間)]、[新入院(年間実人数)]、[退院(年間実人数)]の合計が、[基本診療料別の内訳]における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数(年間)]、[新入院・転床患者数(実人数)]、[退院・転床患者数(実人数)]の合計と一致するように入力してください。(赤枠)

[基本診療料届出項目名]

セルを選択し矢印をクリックすると、プルダウンメニューが表示されるので、算定している基本診療料の項目を選択してください。

[基本診療料届出項目名]が6つ以上ある場合は、区分欄の+ボタンを押してください。入力できる行が増えます。また、-ボタンを押すと入力できる行が減ります。行を減らす際には、非表示になる行の入力項目が全て消えていることを確認してください。(赤枠)

[入院診療収益(年間)]

[入院基本料等別在院患者延数(年間)]に対応する入院診療収益を入力してください。
診療報酬請求書の医療行為の総額に、保険外の患者からの収入(室料差額を除く)を加えてください。

[入院] [入院]における「変更後病床数(期末)」、「在院患者延数(年間)」、「新入院(年間)」、「退院(年間)」の合計欄は、[基本診療料別の内訳]における「病床数」、「入院基本料等別在院患者延数(年間)」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数										入院患者数							
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内の 病床数の変更 (0:無 1:有)			変更時期(西暦) 会計期間内の変更が '1:有'の場合のみ入力			変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)			
															新入院患者数	転床患者数	退院患者数	転床患者数
一般	180床		1	2022	年	8月		200床	70,560床	63,020人	89.3%	3,895人	477人	3,658人	550人			
療養	100床	20床			年			100床	36,500床	35,200人	96.4%	56人	23人	60人	15人			
精神	床	床			年			床	0床	人	0.0%	人	人	人	人			
結核	床	床			年			床	0床	人	0.0%	人	人	人	人			
感染症	床	床			年			床	0床	人	0.0%	人	人	人	人			
合計	280床	20床						300床	107,060床	98,220人		4,451人		4,283人				

[基本診療料別の内訳] 基本診療料届出項目名はプルダウン式でお選びください。各区分において項目が6つ以上ある場合は、+ボタンを押下して非表示となっている行を展開してお使いください。

区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
一般	+ 急性期一般入院料2	120 床	37,812 人	1,950,740,890 円	3,855 人	3,988 人
	- 地域包括ケア病棟入院料1(管理料)					0 人
一致します		一致します				
一般		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	200 床	63,020 人	2,656,941,790 円	4,372 人	4,208 人
区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
療養	+ 回復期リハビリテーション病棟入院料	100 床	35,200 人	1,659,024,350 円	79 人	75 人
	-	床	人	円	人	人
療養		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	100 床	35,200 人	1,659,024,350 円	79 人	75 人
区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
精神	+	床	人	円	人	人
	-	床	人	円	人	人
精神		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	0 床	0 人	0 円	0 人	0 人
上記以外の基本診療料		床	人	円	人	人
合計		300 床	98,220 人	4,315,966,140 円	4,451 人	4,283 人

【加算等の状況】

会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください。プルダウンによる入力も可能です。加算を算定していない場合は、「加算の算定なし」をお選びください。

【外来】

【外来患者延数】

「病院報告」の会計期間12か月分の合計を入力してください。集計方法は病院報告に準じます。なお、通所リハビリテーションの対象者は外来に含みません。

【うち新来患者数】

初診料を算定する患者の年間延数を入力してください。同一患者が異なる傷病により複数の診療科で診察を受け、カルテが複数作成された場合、各診療科の新来患者として取り扱いいます。

【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーション別に実施状況を入力します。DPCおよび地域包括ケアに係るものは、「その他」に入力してください。

（例）利用者50人が、1日3単位のリハビリを年間100回実施した場合（赤枠）

- ・年間延実施回数：5,000回
- ・年間対象者数：50人
- ・年間延実施単位数：15,000単位

【入退院経路の状況】

入院経路の状況

【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠）

入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況

【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠）

【退院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【退院（年間実人数）】と一致するように入力してください。（赤枠）

【加算等の状況】

加算等の算定状況について伺います。会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。加算を算定していない場合は、「加算の算定なし」をお選びください。

A200 総合入院体制加算1	A200 総合入院体制加算2	A200 総合入院体制加算3	A200-2 急性期充実体制加算	
A200-2 精神科充実体制加算	A204 地域医療支援病院入院診療加算	A204-2 臨床研修病院入院診療加算（基幹型）	A204-2 臨床研修病院入院診療加算（協力型）	
A204-3 紹介受診重点区医療機関入院診療加算	A205-2 超急性期脳卒中加算	A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算	A207-2 医師事務作業補助体制加算1（15対1）	
A207-2 医師事務作業補助体制加算1（20対1～40対1）	A207-2 医師事務作業補助体制加算1（それ以外）	A207-2 医師事務作業補助体制加算2（15対1）	A207-2 医師事務作業補助体制加算2（20対1～40対1）	
A207-2 医師事務作業補助体制加算2（それ以外）	A207-3 急性期看護補助体制加算	A207-4 看護職員夜間配置加算	A211 特殊疾患入院施設管理加算	
A226-2 緩和ケア診療加算	A228 精神科応急入院施設管理加算	A230-2 精神科地域移行実施加算	A230-3 精神科身体合併症管理加算	
A230-4 精神科リエンゾーム加算	A231-3 依存症入院医療管理加算	A232 がん拠点病院加算（がん診療連携拠点病院）	A232 がん拠点病院加算（地域がん診療病院）	
A232 小児がん拠点病院加算	A233-2 栄養サポートチーム加算	A234 医療安全対策加算	A234-2 感染対策向上加算1	
A234-2 感染対策向上加算2	A234-2 感染対策向上加算3	A234-3 患者サポート体制充実加算	A234-4 重症患者初期支援充実加算	
A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	A237 ハイリスク分娩等管理加算	A242 呼吸ケアチーム加算	A242-2 術後疼痛管理チーム加算	
A243 後発医薬品使用体制加算	A244 病棟薬剤業務実施加算	A245 データ提出加算	A246 入退院支援加算1	1
A246 入退院支援加算2	A246 入退院支援加算3	A247 認知症ケア加算1	A248 精神疾患診療体制加算1	
A248 精神疾患診療体制加算2	A252 地域医療体制確保加算	A314 認知症夜間対応加算	A100他 ADL維持向上等体制加算	
A101他 在宅復帰機能強化加算	A103他 精神保健福祉士配置加算	A300他 重症患者対応体制強化加算	A307 時間外受入体制強化加算1	
A307 時間外受入体制強化加算2	A308 休日リハビリテーション提供体制加算	特掲 機能強化型・単独型の在宅療養支援病院	特掲 機能強化型・連携型の在宅療養支援病院	
特掲 従来型の在宅療養支援病院	特掲 在宅療養後方支援病院	加算の算定なし		

【外来】

外来診療日数	310 日/365・366日	外来患者延数	90,530 人	うち新来患者数	8,784 人
--------	----------------	--------	----------	---------	---------

【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーションの実施状況について伺います。基準については、会計期末に算定している施設基準をお選びください。初期加算、早期リハビリテーション加算については、算定している場合は「1」を入力してください。年間対象者数については、実人数を入力してください。
【例】患者1人に対し、1日3単位のリハビリを年間100回実施し、対象者が50人の場合「年間延実施回数：5,000回、年間対象者数：50人、年間延実施単位数：15,000単位」になります。

	基準	初期加算	早期リハビリテーション加算	年間延実施回数	年間対象者数（実人数）	年間延実施単位数
心大血管疾患リハビリテーション				5,000	50	15,000
脳血管疾患等リハビリテーション	1	1		6,909	884	19,710
廃用症候群リハビリテーション	1	1		24,558	5,046	62,635
運動器リハビリテーション	1	1		1,733	94	1,864
呼吸器リハビリテーション						
その他						
合計				38,200	6,074	99,209

【入退院経路の状況】

入院経路の状況 合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院経路の状況	入院患者数（年間実人数）	入院経路の状況	入院患者数（年間実人数）
予定入院の患者・院内の他病床からの転床患者	2,240 人	紹介入院	473 人
予定外の救急医療入院以外の入院患者	565 人	その他	0 人
予定外の救急医療入院の患者	1,173 人	合計	4,451 人

入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況 合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」、「退院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院前の場所	入院患者数（年間実人数）	退院先の場所	退院患者数（年間実人数）
院内の他病床からの転床	653 人	院内の他病床へ転床	653 人
家庭からの入院	1,471 人	家庭へ退院	2,110 人
他の病院、診療所からの転院	1,855 人	他の病院、診療所へ転院	1,030 人
介護施設、福祉施設からの入院	472 人	介護老人保健施設に入所	32 人
介護医療院からの入院	0 人	介護老人福祉施設に入所	28 人
院内の出生	0 人	介護医療院に入所	0 人
その他	0 人	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	385 人
		終了（死亡退院等）	45 人
		その他	0 人
合計	4,451 人	合計	4,283 人

【その他】

【救急の状況】

【救急車搬送件数】は、救急車、ヘリコプター等により搬送された患者数を入力してください。【うち入院件数】は、救急搬送された患者のうち、入院した件数を入力してください。

【手術件数】

年間延べ手術件数を入力してください。手術に該当する診療報酬算定件数のうち輸血以外（Kコードに限る）のものを入力してください。複数のKコードをもつ場合は併せて1件としてください。

【人工透析の状況】

【人工透析収益】は、診療報酬請求の医療行為総額を入力してください。

3. 従事者の状況

10月1日時点の状況を入力してください。会計期間内に10月1日が無い場合は、期末の人数を用いてください。

複数施設（事業）で勤務している、または同一施設（事業）で複数の職種を兼任している職員がいる場合は、従事者の重複が生じないよう、勤務時間や人件費等を用いて按分します（詳細は別欄の「従事者の按分について」をご覧ください）。

【調理員】

給食業務を委託している場合（調理員が委託業者の従事者）は空欄にしてください。（赤枠）

4. 委託の状況

業務委託を利用しているもの全てに「1」を入力してください。業務委託を利用していない場合は【委託なし】に「1」を入力してください。

【給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）】・【給食業務（一部委託）】

献立作成や食材の仕入れ等、給食業務の全てを委託している場合は【給食業務（全面委託）＜労務費＋食材＞】を選択してください。調理員が委託業者の従事者の場合は、3. 従事者の状況の【調理員】が空欄となっていることを確認してください。（赤枠）

【労務管理】

給与計算、勤怠管理、就業規則の作成等の業務を委託している場合が該当します。

【会計・請求】

決算業務、介護給付費等の請求等の業務を委託している場合が該当します。

従事者の按分について

1週間あたりの総勤務時間を分母とし、各施設の総勤務時間を分子として勤務時間の按分を行います。

例：Aさん（1週間あたりの総勤務時間40時間）が、特別養護老人ホーム（28時間）、認知症高齢者グループホーム（8時間）、通所介護（4時間）の【施設長】（管理者）を兼務していた場合。

特別養護老人ホームの28時間 ÷ 1週間あたりの総労働時間40時間 = 0.7 から、特別養護老人ホームの【施設長】は0.7になります。

【療養病床等の状況】

療養病棟入院基本料を計上する場合、医療区分・ADL区分別の在院患者延数を入力してください。

	医療区分1		医療区分2		医療区分3
ADL区分3		人		人	人
ADL区分2		人		人	人
ADL区分1		人		人	人

【新型コロナウイルス感染症関連】

(1)新型コロナウイルス感染症への対応状況について、該当する場合は「1」を入力してください（受入実績がない場合も(2)、(3)にお答えください）。

新型コロナウイルス感染症患者（疑似症患者含）等の受入の有無 1

(2) 自治体などへ病床確保及び患者受入に係る補助金申請時に提出している、実績報告書等の数値を記入してください。

確保した病床延数	5,890床	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください
受入患者延数	5,328人	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください
(確保した病床延数のうち、空床となった病床延数)	562床	

増益計算書に計上された新型コロナウイルス感染症患者の受入等に係る補助金の交付（見込）額	事業収益への計上額	事業外収益への計上額	特別利益への計上額
	円	1,023,568,300円	円

(3)新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いに基づく加算の算定実績について、該当するものに「1」を入力してください。

難病患者等入院診療加算	二類感染症患者入院診療加算	1	二類感染症患者療養環境加算1	二類感染症患者療養環境加算2
在宅患者支援病床初期加算	在宅患者支援療養病床初期加算		院内トリアージ実施科	1

【その他】

～ は選択肢からお選びください。～ は件数、金額等を入力してください。

院外処方	2	【選択肢：[0] 無 [1] 全面 [2] 一部有】	DPC対象病院の指定状況	1	【選択肢：[0] 非該当 [1] 対象病院 [2] 準備病院】
救急告示の指定状況	1	【選択肢：[0] 無 [1] 有】	医療計画上の救急医療体制	2	【選択肢：[0] 非該当 [1] 一次救急 [2] 二次救急 [3] 三次救急】
救急の状況	救急車搬送件数	1,277件	うち入院件数	301件	
手術件数	521件				
検診・健診の状況	年間検診・健診件数	5,886件	検診・健診収益	80,906,550円	
人工透析の状況	年間延べ実施回数	3,010件	人工透析収益	102,004,280円	人工透析装置の台数 10台
	うち入院	件	うち入院	円	
	うち外来	3,010件	うち外来	102,004,280円	

3. 従事者の状況

従事者の状況について伺います。会計期間内の10月1日時点の状況を入力してください（小数点第一位まで）。派遣職員等の常勤換算には業務委託による従事者を含みます。

区分	常勤	非常勤	常勤換算	派遣職員等常勤換算	区分	常勤	非常勤	常勤換算	派遣職員等常勤換算
医師	27.0	60.0	6.0		作業療法士	10.0			
歯科医師	1.0	1.0	0.5		言語聴覚士	3.0			
薬剤師	10.0	3.0	1.5		視能訓練士	1.0	1.0	0.5	
看護師	110.0	13.0	9.5		義肢装具士				
准看護師	23.0	10.0	7.0		歯科衛生士	3.0			
助産師					歯科技工士				
管理栄養士	2.0				看護補助者	25.0	18.0	9.5	
栄養士					M S W ・ P S W				
診療放射線技師	8.0				介護支援専門員				
診療X線技師					調理員				
臨床検査技師	3.0				事務職	25.0	10.0	6.5	
衛生検査技師					その他	1.0			
臨床工学技士					合計	292.0	116.0	41.0	0.0
理学療法士	40.0								

4. 委託の状況

委託の状況について伺います。該当するもの全てに「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。業務委託を利用していない場合は、「委託なし」をお選びください。

検体検査	1	滅菌消毒	1	給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）	1	給食業務（一部委託）		患者搬送	
医療機器の保守点検	1	医療用ガス供給設備の保守点検	1	寝具類洗濯	1	院内清掃	1	医事業務	
会計委託業務		その他		委託なし					

5. 決算の状況

- ・5. 決算の状況を作成してください。
- ・金額は円単位で入力してください。

【貸借対照表】

・施設別の貸借対照表・試算表を作成していない（資産・負債を把握していない）場合は、**[施設別の貸借対照表を作成していない]**に「1」を入力してください。（赤枠）

・「流動資産」+「固定資産」=「流動負債」+「固定負債」+「純資産の部」となるように入力してください。

【損益計算書】

・集計方法の違い等により、【基本診療料別の内訳】に入力した「入院診療収益（年間）」と【損益計算書】の「入院診療収益」が一致しない場合は、**[入院診療収益の内訳は一致しない]**に「1」を入力してください。（赤枠）

・施設別の決算を作成していない場合であっても、費用の按分等を行い入力してください。

* 勘定科目については次頁以降で説明しています。

5. 決算の状況

【貸借対照表】

施設別の貸借対照表を作成していない ☐ 施設別の貸借対照表・試算表を作成していない（資産・負債を把握していない）場合は「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
現金及び預金	1,008,000.200円	支払手形	1,000.500円
事業未収金	27,500.500円	買掛金	1,000.000円
たな卸資産	5,003.100円	短期借入金	0円
その他の流動資産	51,296.200円	1年以内返済予定長期借入金	5,600.200円
計	1,091,800.000円	未払金・未払費用	0円
建物・構築物	104,004.000円	その他の流動負債	0円
機械備品・車両	150,020.030円	計	7,600.700円
その他の有形固定資産	80,029.900円	医療機関備	1,000.400円
土地	380,700.000円	長期借入金	200,450.600円
建設仮勘定	0円	長期未払金	100.500円
無形固定資産	0円	リース債務	100.800円
うちソフトウェア	0円	退職給付引当金	70,056.070円
その他の資産	1,000.000円	その他の引当金	5,067.000円
うち長期買付金	0円	長期前受補助金	100.000円
計	715,753.930円	その他の固定負債	100.000円
		計	276,975.370円
		資本金・基金・基本金	83,005.000円
		資本剰余金	0円
		利益剰余金・積立金	1,436,970.860円
		うち当期剰余金	1,322,355.930円
		計	1,519,975.860円
		他会計調整勘定	3,002.000円
		貸借相殺して計上	
合 計	1,807,553.930円	合 計	1,807,553.930円

【損益計算書】

入院診療収益の内訳は一致しない ☐ 集計方法の違い等により【基本診療料別の内訳】にて入力した「入院診療収益（年間）」の合計と【損益計算書】の「入院診療収益」が一致しない場合は「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
入院診療収益	4,315,966.140円	給与	2,791,300.800円
室料差額収益	7,713.800円	法定福利費	100,400.500円
外来診療収益	660,511.090円	退職給付費用	80,050.030円
保健予防活動収益	90,666.000円	役員報酬	70,024.000円
医療相談収益	140.550円	医薬品費	130,400.700円
受託検査・施設利用収益	0円	その他の医療材料費	17,001.000円
		給食材料費	45,030.040円
		給食委託費	60,080.090円
		その他の委託費	305,500.600円
		リース料	200,130.000円
		賃借料	100,400.500円
		地代家賃	0円
		水道光熱費	103,305.500円
		修繕費	200,500.600円
		本部費配賦額	0円
		その他の費用	340,700.390円
		減価償却費	230,483.000円
		計	4,775,307.750円
		事業利益	300,298.630円
		事業外費用	1,004.250円
		うち受取利息	970.300円
		経常利益	1,322,862.730円
		特別損失	300.500円
		税引前当期純利益	1,323,562.530円
		法人税、住民税及び事業税	1,206.600円
		当期純利益	1,322,355.930円

【長期借入金元金償還額の状況】

通常償還分	28,000.000円
借替一括償還分	0円
合 計	28,000.000円

勘定科目の説明　－病院－

施設状況票の科目	説明（決算書・試算表等の勘定科目）
事業収益	
入院診療収益	入院患者に対する診療・療養に係る収益 医療保険、公費負担医療、公害医療、労災保険、自動車損害賠償責任保険、自費診療等の合計
室料差額収益	特定療養費の対象となる特別の療養環境の提供に係る収益
外来診療収益	外来患者に対する診療・療養に係る収益 医療保険、公費負担収益、公害医療、労災保険、自動車損害賠償責任保険、自費診療等の合計
保健予防活動収益	健康診断、予防接種など集団的保健予防活動による収益
医療相談収益	人間ドック、妊産婦保健指導など個別的保健予防活動による収益
受託検査・施設利用収益	他の医療機関から検査の委託を受けた場合の検査収益及び医療設備機器を他の医療機関の利用に供した場合の収益
その他の医業収益	上記以外の医業収益（例：文書料） 施設介護、短期療養介護、訪問看護事業、通所リハビリ事業、居宅介護支援事業等の介護保険事業の費用が病院の費用に含まれる場合は、その収益を「その他の医業収益」に入力してください
保険等査定減	社会保険診療報酬支払基金などの審査機関による審査減額
事業外収益	受取利息及び配当金、有価証券売却益、運営費補助金収益、施設設備補助金収益（特別利益に属するものを除く）、患者外給食収益　等
（うち受取利息）	受取利息、受取利息配当金
特別利益	固定資産売却益、その他の臨時収入　等

施設状況票の科目	説明（決算書・試算表等の勘定科目）
長期借入金元金償還額の状況	当該施設に係る長期借入金の返済額（利息を除く） 当機構の他、他の金融機関等への返済額を含む
通常償還額	長期借入金元金返済額のうち通常の元金償還額
借替一括償還分	長期借入金元金返済額のうち繰上償還に伴う元金償還額

施設状況票の科目	説明（決算書・試算表等の勘定科目）
事業費用	
給与費	直接業務にあたる従事者に対する給与（賞与を含む） 役員報酬は給与費には計上せず、役員報酬欄に入力
法定福利費	直接業務にあたる役員・従事者に対する健康保険法等の法令に基づく事業主負担額（例：法定福利費、役員法定福利費）
退職給付費用	直接業務にあたる従事者に対する退職一時金、退職年金等将来の退職給付のうち、当該会計期間の負担に属する金額（役員であることに起因する部分を除く）
役員報酬	役員に支払う報酬全般（例：役員報酬、役員退職給付費用）
医薬品費	薬品全般の費消額
その他の医療材料費	診療材料費、医療消耗器具備品費などの医薬品費以外の医療材料費
給食材料費	患者給食のために使用した食品の費消額
給食委託費	外部に委託した給食業務の対価としての費用
その他の委託費	委託した業務の対価としての費用（例：検査委託費、寝具委託費、医事委託費、清掃委託費、保守委託費）
リース料	リース契約に基づく支払であって、リース料又は賃借料として会計処理をしている場合の額
賃借料	リース料以外の機器賃借料
地代家賃	土地、建物などの賃借料
水道光熱費	電気、ガス、水道、燃料等の費用
修繕費	有形固定資産に損傷、摩滅、汚損などが生じたとき、現状回復に要した通常の修繕のための費用
本部費配賦額	本部会計を設けた場合の、一定の配賦基準で配賦され本部の費用
その他の費用	上記の科目・減価償却費以外の費用の合計 （例：福利厚生費、旅費交通費、職員被服費、通信費、消耗品費）
減価償却費	建物、機器備品等の減価償却の額
事業外費用	支払利息、有価証券売却損、患者外給食用材料費、診療費減免、医業外貸倒損失　等
（うち支払利息）	支払利息、支払利息割引料
特別損失	固定資産売却損、災害損失等の臨時損失、前期損益修正損　等
法人税、住民税及び事業税	会計期間にかかる法人税、住民税及び事業税（利益に関連する金額を課税標準として課される事業税）

勘定科目の説明　－病院－

施設状況票の科目		説明（決算書・試算表の勘定科目）
流動資産		
現金及び預金	現金及び預貯金 （例：現金、小口現金、預金、当座預金、普通預金、定期預金、郵便貯金、定期積金、〇〇銀行〇〇口座）	
事業未収金	医業・施設運営事業に対する未収金 （例：医業未収金、事業未収金、患者未収金、売掛金、窓口未収金、電子記録債権）	
たな卸資産	医業・施設運営事業のために短期間で費消される資産 医薬品、診療材料、給食用材料、医療消耗器具備品、貯蔵品、在庫、商品、製品、仕掛品等のたな卸資産	
その他の流動資産	上記の科目に属さない流動資産 （例：未収税金、未収収益、有価証券、前渡金、前払費用、未収収益、短期貸付金）	
固定資産		
建物・構築物	当該施設に属する建物、建物付属設備、構築物	
器機備品・車両	医療用器械備品、その他の器械備品 （例：医療用器機、機械、器具、備品、車輛運搬具（ファイナンスリース契約によるものを含む））	
その他の有形固定資産	上記の科目に属さない有形固定資産 （例：放射性同位元素等、一括償却資産、少額償却資産、生物、図書）	
土地	当該事業活動に使用している土地	
建設仮勘定	建物仮勘定	
無形固定資産	権利等の無形固定資産 （例：無形固定資産、借地権、ソフトウェア、電話加入権、特許権、のれん）	
	（うちソフトウェア）	無形固定資産のうちソフトウェアとして計上している額
その他の資産	有形固定資産、無形固定資産以外の資産 （例：満期保有目的の有価証券、長期貸付金、奨学金、長期前払費用、貸倒引当金、保証金、敷金、保険積立金、長期預け金、退職積立金）	
	（うち長期貸付金）	その他の資産のうち長期貸付金として計上している額 （例：長期貸付金、貸付金、奨学金、従業員貸付金）

施設状況票の科目		説明（決算書・試算表の勘定科目）
流動負債		
支払手形	支払手形、電子記録債務	
買掛金	医薬品、診療材料、給食用材料などたな卸資産に対する未払債務 （例：買掛金、事業未払金）	
短期借入金	金融機関、機構、役員等からの借入金で、当初の契約において１年以内に返済期限が到来するもの	
１年以内返済予定長期借入金	金融機関、機構、役員などからの借入金のうち、１年以内に返済予定の長期借入金	
未払金・未払費用	器械、備品などの償却資産及び医業費用等に対する未払債務、未払費用 固定負債に属するものを除く （例：未払金、未払費用、未払利息、割賦未払金）	
その他の流動負債	上記の科目に属さない流動負債 （例：預り金、前受金、前受収益、賞与引当金）	
固定負債		
医療機関債	医療機関債	
長期借入金	金融機関、機構、役員などからの借入金のうち、当初の契約において１年を超えて返済期限が到来するもの	
長期未払金	長期未払金	
リース債務	リース債務	
退職給付引当金	退職給付に係る会計基準に基づき従業員が提供した労働用益に対して将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金 （例：退職給付引当金、退職給与引当金）	
その他引当金	退職給付引当金以外の引当金 （例：修繕引当金、役員退職慰労引当金）	
長期前受補助金	長期前受補助金	
その他の固定負債	上記の科目に属さない固定負債 （例：長期預り金、受入保証金、資産除去債務）	
純資産		
資本金・基金・基本金	資本金、基金、基本金	
資本剰余金	資本準備金、その他資本剰余金	
利益剰余金・積立金	利益準備金、その他利益準備金、任意積立金、繰越利益剰余金	

施設状況票〔病院〕 記入要領

施設状況票では、施設の概要、利用者の利用状況、職種別の従事者の状況等について、ご報告いただきます。

施設状況票のExcelファイルはマクロを含んでいますので、初めにマクロを有効化してご使用ください。

入力前に「施設状況票入力にあたってのお願い」（赤枠）の内容をご確認ください。また、設問ごとに入力セルの横や項目名の横に注釈（赤枠）を記載していますので、併せてご参照ください。

施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。薄いオレンジ色のセルが入力可能なセルです。また、セルのコピーアンドペースト（貼り付け）を使用するとファイルが使用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

1. 施設の概要

〔医療機関等コード〕

保険医療機関コード（10桁）を入力してください。（赤枠）
都道府県番号（2桁）＋点数表番号（1桁）＋医療機関番号（7桁）の10桁となります。

〔期中の開設・廃止等〕

期中に開設、休止、廃止、譲渡した場合のみ、選択肢から選んで入力してください。重複する場合は、選択肢の数字が大きいものを優先して入力してください。
（例）期中に開設し、譲渡した場合は、「4」譲渡と入力します。

2. 利用状況

〔入院〕

区分（医療法第7条に基づく病床の種別（一般病床、療養病床、精神病床、結核病床、感染症病床））ごとに入力してください。（赤枠）

〔病床数（期首）〕

病床数の変更に関わらず、期首の病床数を入力してください。

〔会計期間内の病床数の変更〕

会計期間内に変更があった場合は「1」を入力し、〔変更時期（西暦）〕、〔変更後病床数（期末）〕を入力してください。

〔変更後病床数（期末）〕

病床数の変更に関わらず、期末の病床数を入力してください。

〔在院患者延数（年間）〕

会計期間内の入院料ごとに、診療報酬請求の元となった人数を入力してください。

〔新入院患者数〕・〔退院患者数〕・〔転床患者数〕

年間の実人数を入力してください。また、合計欄は後述する〔基本診療科別の内訳〕、〔入退院経路の状況〕の内容と一致します。入院してその日のうちに退院した患者も含まれます。

〔転床患者数〕については、同一医療機関内で区分が変わる患者数を入力してください。同じ区分内の移動は、〔転床患者数〕に含めません。

〔入力例〕

医療施設（病院） 施設状況票（社会福祉法人）

（入力例のPDFはこちら）

I-A②

法人名 (個人事業主の場合は氏名)		社会福祉法人 神谷会		年度 2022	観客コード 99999	拠点コード 001	施設票番号 001		
<div>施設状況票入力にあたってのお願い</div> <ul style="list-style-type: none">施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。また、入力されている内容が誤っている場合は修正してください。各項目の記入にあたり、指定がない場合は、会計期間末日の状況をご記入ください。一つの建物で複数の事業を行っている場合など、事業ごとに按分が必要な場合は各事業で調整してください。また、同じ組織が複数事業で勤務している場合などは、勤務時間や人件費等で従事者数を按分してください。患者数について、指定がない場合は実人数ではなく延人数（患者1名が2日入院した場合や2回外来を受けた場合は2人）で入力してください。									
作成担当者	医療 花子	電話番号	00-0000-0000	※14桁以内の半角数字とハイフンで入力してください。	FAX番号 (任意)	00-0000-0000			
1. 施設の概要									
施設名	神谷町病院						医療機関等 コード	1234567890	
施設の所在地	郵便番号	150-0000 ※3桁の半角数字とハイフンと4桁の半角数字の郵便番号を入力してください。(例:105-8486)							
	住 所	東京都港区虎ノ門4-3-13							
開設年月日	西暦	1980	年	4	月	1	日	指定管理者の指定	※行政から指定管理者として指定を受けて施設を運営している場合は「1」を入力してください。
土地・建物の所有状況	※次の選択肢1〜4からお選びください。(選択肢:「1」法人所有 「2」全て賃借(借地) 「3」一部賃借(借地) 「4」その他)								
土地の所有状況	1		建物の所有状況		1				
公有地等の状況	※土地(建物)の一部に公有地(公設の建物)を含む場合は「1」を入力してください。								
公有地の有無			公設の建物有無						
建物の延床面積	10,500 m ² ※一つの建物で複数の事業を行っている場合は当該事業に使用している面積を入力してください。								
全面建替の竣工時期	西暦	2015	年	1	月	※開設から全面建替を行っていない場合は空欄にしてください。 また、複数回行われている場合は直近の竣工時期を記入してください。			
会計期間	西暦	2022	年	4	月	1	日	～ 西暦	2023 年 3 月 31 日 ※この施設状況票が報告する会計期間を入力してください。
期中の開設・廃止等	※期中に開設、休止、廃止、譲渡した場合は最も適当なものを次の選択肢1〜4からお選びください。重複する場合は数字が大きいものを優先してください。(選択肢:「1」開設 「2」休止 「3」廃止 「4」譲渡)								

2. 利用状況

※〔入院〕における「変更後病床数(期末)」、「在院患者延数(年間)」、「新入院(年間)」、「退院(年間)」の合計欄は、〔基本診療科別の内訳〕における「病床数」、「入院基本料等別在院患者延数(年間)」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数							入院患者数							
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内の 病床数の 変更 (0:無・1:有)		変更時期(西暦) 会計期間内の変更が 「1:有」の場合のみ入力		変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)		
			新入院患者数	転床患者数	退院患者数	転床患者数									
一般	180	床		1	2022	年 8 月	200	床	70,560 床	63,020 人	89.3%	3,895 人	477 人	3,658 人	550 人
療養	100	床	20			年 月	100	床	36,500 床	35,200 人	96.4%	56 人	23 人	60 人	15 人
精神		床				年 月		床	0 床		0.0%				
結核		床				年 月		床	0 床		0.0%				
感染症		床				年 月		床	0 床		0.0%				
合計	280	床	20				300	床	107,060 床	98,220 人		4,451 人		4,283 人	

[基本診療料別の内訳]

[入院]にて入力いただいた内容の詳細を[基本診療料別の内訳]に入力します。

[入院]における各区分の[変更後病床数(期末)]、[在院患者延数(年間)]、[新入院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数、[退院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数が[基本診療料別の内訳]における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数(年間)]、[新入院・転床患者数(実人数)]、[退院・転床患者数(実人数)]の小計と一致するように入力してください。(青枠)

また、[入院]における[変更後病床数(期末)]、[在院患者延数(年間)]、[新入院(年間実人数)]、[退院(年間実人数)]の合計が、[基本診療料別の内訳]における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数(年間)]、[新入院・転床患者数(実人数)]、[退院・転床患者数(実人数)]の合計と一致するように入力してください。(赤枠)

[基本診療料届出項目名]

セルを選択し矢印をクリックすると、プルダウンメニューが表示されるので、算定している基本診療料の項目を選択してください。

[基本診療料届出項目名]が6つ以上ある場合は、区分欄の+ボタンを押してください。入力できる行が増えます。また、-ボタンを押すと入力できる行が減ります。行を減らす際には、非表示になる行の入力項目が全て消えていることを確認してください。(赤枠)

[入院診療収益(年間)]

[入院基本料等別在院患者延数(年間)]に対応する入院診療収益を入力してください。
診療報酬請求書の医療行為の総額に、保険外の患者からの収入(室料差額を除く)を加えてください。

[入院] [入院]における「変更後病床数(期末)」、「在院患者延数(年間)」、「新入院(年間)」、「退院(年間)」の合計欄は、[基本診療料別の内訳]における「病床数」、「入院基本料等別在院患者延数(年間)」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数										入院患者数							
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内 の病床数の 変更 (0:無 1:有)	変更時期(西暦) 会計期間内の変更が '1:有'の場合のみ入力			変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)					
				年	月	日					新入院患者数	転床患者数	退院患者数	転床患者数				
一般	180 床		1	2022	年	8 月	200 床	70,560 床	63,020 人	89.3%	3,895 人	477 人	3,658 人	550 人				
療養	100 床	20 床			年		100 床	36,500 床	35,200 人	96.4%	56 人	23 人	60 人	15 人				
精神	床	床			年	月	床	0 床	人	0.0%	人	人	人	人				
結核	床	床			年	月	床	0 床	人	0.0%	人	人	人	人				
感染症	床	床			年	月	床	0 床	人	0.0%	人	人	人	人				
合計	280 床	20 床					300 床	107,060 床	98,220 人		4,451 人			4,283 人				

[基本診療料別の内訳] 基本診療料届出項目名はプルダウン式でお選びください。各区分において項目が6つ以上ある場合は、+ボタンを押下して非表示となっている行を展開してお使いください。

区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
一般	+ 急性期一般入院料2	120 床	37,812 人	1,950,740,890 円	3,855 人	3,988 人
	- 地域包括ケア病棟入院料1(管理料)					0 人
一致します		一致します				
一般		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	200 床	63,020 人	2,656,941,790 円	4,372 人	4,208 人
区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
療養	+ 回復期リハビリテーション病棟入院料	100 床	35,200 人	1,659,024,350 円	79 人	75 人
	-	床	人	円	人	人
療養		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	100 床	35,200 人	1,659,024,350 円	79 人	75 人
区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
精神	+	床	人	円	人	人
	-	床	人	円	人	人
精神		床	人	円	人	人
		床	人	円	人	人
	休床等	床	人	円	人	人
	小計	0 床	0 人	0 円	0 人	0 人
上記以外の基本診療料		床	人	円	人	人
合計		300 床	98,220 人	4,315,966,140 円	4,451 人	4,283 人

【加算等の状況】

会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください。プルダウンによる入力も可能です。加算を算定していない場合は、「加算の算定なし」をお選びください。

【外来】

【外来患者延数】

「病院報告」の会計期間12か月分の合計を入力してください。集計方法は病院報告に準じます。なお、通所リハビリテーションの対象者は外来に含みません。

【うち新来患者数】

初診料を算定する患者の年間延数を入力してください。同一患者が異なる傷病により複数の診療科で診察を受け、カルテが複数作成された場合、各診療科の新来患者として取り扱いいます。

【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーション別に実施状況を入力します。DPCおよび地域包括ケアに係るものは、「その他」に入力してください。

（例）利用者50人が、1日3単位のリハビリを年間100回実施した場合（赤枠）

- ・年間延実施回数：5,000回
- ・年間対象者数：50人
- ・年間延実施単位数：15,000単位

【入退院経路の状況】

入院経路の状況

【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠）

入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況

【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠）

【退院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【退院（年間実人数）】と一致するように入力してください。（赤枠）

【加算等の状況】

加算等の算定状況について伺います。会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。加算を算定していない場合は、「加算の算定なし」をお選びください。

A200 総合入院体制加算1	A200 総合入院体制加算2	A200 総合入院体制加算3	A200-2 急性期充実体制加算	
A200-2 精神科充実体制加算	A204 地域医療支援病院入院診療加算	A204-2 臨床研修病院入院診療加算（基幹型）	A204-2 臨床研修病院入院診療加算（協力型）	
A204-3 紹介受診重点医療機関入院診療加算	A205-2 超急性期脳卒中加算	A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算	A207-2 医師事務作業補助体制加算1（15対1）	
A207-2 医師事務作業補助体制加算1（20対1～40対1）	A207-2 医師事務作業補助体制加算1（それ以外）	A207-2 医師事務作業補助体制加算2（15対1）	A207-2 医師事務作業補助体制加算2（20対1～40対1）	
A207-2 医師事務作業補助体制加算2（それ以外）	A207-3 急性期看護補助体制加算	A207-4 看護職員夜間配置加算	1 A211 特殊疾患入院施設管理加算	
A226-2 緩和ケア診療加算	A228 精神科応急入院施設管理加算	A230-2 精神科地域移行実施加算	A230-3 精神科身体合併症管理加算	
A230-4 精神科リエゾンチーム加算	A231-3 依存症入院医療管理加算	A232 がん拠点病院加算（がん診療連携拠点病院）	A232 がん拠点病院加算（地域がん診療病院）	
A232 小児がん拠点病院加算	A233-2 栄養サポートチーム加算	A234 医療安全対策加算	A234-2 感染対策向上加算1	
A234-2 感染対策向上加算2	A234-2 感染対策向上加算3	A234-3 患者サポート体制充実加算	A234-4 重症患者初期支援充実加算	
A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	A237 ハイリスク分娩等管理加算	A242 呼吸ケアチーム加算	A242-2 術後疼痛管理チーム加算	
A243 後発医薬品使用体制加算	A244 病棟薬剤業務実施加算	A245 データ提出加算	A246 入退院支援加算1	1
A246 入退院支援加算2	A246 入退院支援加算3	A247 認知症ケア加算1	A248 精神疾患診療体制加算1	
A248 精神疾患診療体制加算2	A252 地域医療体制確保加算	A314 認知症夜間対応加算	A100他 ADL維持向上等体制加算	
A101他 在宅復帰機能強化加算	A103他 精神保健福祉士配置加算	A300他 重症患者対応体制強化加算	A307 時間外受入体制強化加算1	
A307 時間外受入体制強化加算2	A308 休日リハビリテーション提供体制加算	特掲 機能強化型・単独型の在宅療養支援病院	特掲 機能強化型・連携型の在宅療養支援病院	
特掲 従来型の在宅療養支援病院	特掲 在宅療養後方支援病院	加算の算定なし		

【外来】

外来診療日数	310 日/365-366日	外来患者延数	90,530 人	うち新来患者数	8,784 人
--------	----------------	--------	----------	---------	---------

【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーションの実施状況について伺います。基準については、会計期末に算定している施設基準をお選びください。初期加算、早期リハビリテーション加算については、算定している場合は「1」を入力してください。年間対象者数については、実人数を入力してください。
【例】患者1人に対し、1日3単位のリハビリを年間100回実施し、対象患者が50人の場合「年間延実施回数、5,000回、」年間対象者数、50人、」年間延実施単位数、15,000単位になります。

	基準	初期加算	早期リハビリテーション加算	年間延実施回数	年間対象者数（実人数）	年間延実施単位数
心大血管疾患リハビリテーション						
脳血管疾患等リハビリテーション	1	1		5,000	50	15,000
廃用症候群リハビリテーション	1	1		6,909	884	19,710
運動器リハビリテーション	1	1		24,558	5,046	62,635
呼吸器リハビリテーション	1	1		1,733	94	1,864
その他						
合計				38,200	6,074	99,209

【入退院経路の状況】

入院経路の状況 合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院経路の状況	入院患者数 （年間実人数）	入院経路の状況	入院患者数 （年間実人数）
予定入院の患者・院内の他病床からの転床患者	2,240 人	紹介入院	473 人
予定外の救急医療入院以外の入院患者	565 人	その他	0 人
予定外の救急医療入院の患者	1,173 人	合計	4,451 人

入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況 合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」、「退院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院前の場所	入院患者数 （年間実人数）	退院先の場所	退院患者数 （年間実人数）
院内の他病床からの転床	653 人	院内の他病床へ転床	653 人
家庭からの入院	1,471 人	家庭へ退院	2,110 人
他の病院、診療所からの転院	1,855 人	他の病院、診療所へ転院	1,030 人
介護施設、福祉施設からの入院	472 人	介護老人保健施設に入所	32 人
介護医療院からの入院	0 人	介護老人福祉施設に入所	28 人
院内の出生	0 人	介護医療院に入所	0 人
その他	0 人	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	385 人
		終了（死亡退院等）	45 人
		その他	0 人
合計	4,451 人	合計	4,283 人

【その他】

[救急の状況]

[救急車搬送件数]は、救急車、ヘリコプター等により搬送された患者数を入力してください。[うち入院件数]は、救急搬送された患者のうち、入院した件数を入力してください。

[手術件数]

年間延べ手術件数を入力してください。手術に該当する診療報酬算定件数のうち輸血以外（Kコードに限る）のものを入力してください。複数のKコードをもつ場合は併せて1件としてください。

[人工透析の状況]

[人工透析収益]は、診療報酬請求の医療行為総額を入力してください。

3．従事者の状況

10月1日時点の状況を入力してください。会計期間内に10月1日が無い場合は、期末の人数を用いてください。

複数施設（事業）で勤務している、または同一施設（事業）で複数の職種を兼任している職員がいる場合は、従事者の重複が生じないよう、勤務時間や人件費等を用いて按分します（詳細は別欄の「従事者の按分について」をご覧ください）。

[調理員]

給食業務を委託している場合（調理員が委託業者の従事者）は空欄にしてください。（赤枠）

4．委託の状況

業務委託を利用しているもの全てに「1」を入力してください。業務委託を利用していない場合は[委託なし]に「1」を入力してください。

[給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）]・[給食業務（一部委託）]

献立作成や食材の仕入れ等、給食業務の全てを委託している場合は[給食業務（全面委託）＜労務費＋食材＞]を選択してください。調理員が委託業者の従事者の場合は、3．従事者の状況の[調理員]が空欄となっていることを確認してください。（赤枠）

[労務管理]

給与計算、勤怠管理、就業規則の作成等の業務を委託している場合が該当します。

[会計・請求]

決算業務、介護給付費等の請求等の業務を委託している場合が該当します。

従事者の按分について

1週間あたりの総勤務時間を分母とし、各施設の総勤務時間を分子として勤務時間の按分を行います。

例：Aさん（1週間あたりの総勤務時間40時間）が、特別養護老人ホーム（28時間）、認知症高齢者グループホーム（8時間）、通所介護（4時間）の[施設長]（管理者）を兼務していた場合。

特別養護老人ホームの28時間 ÷ 1週間あたりの総労働時間40時間 = 0.7 から、特別養護老人ホームの[施設長]は0.7になります。

【療養病床等の状況】

療養病床入院基本料を計上する場合、医療区分・ADL区分別の在院患者延数を入力してください。

	医療区分1	医療区分2	医療区分3
ADL区分3	人	人	人
ADL区分2	人	人	人
ADL区分1	人	人	人

【新型コロナウイルス感染症関連】

(1)新型コロナウイルス感染症への対応状況について、該当する場合は「1」を入力してください（受入実績がない場合も(2)、(3)にお答えください）。

新型コロナウイルス感染症患者（疑似症患者含）等の受入の有無	1
-------------------------------	---

(2) 自治体などへ病床確保及び患者受入に係る補助金申請時に提出している、実績報告書等の数値を記入してください。

確保した病床延数	5,890床	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください
受入患者延数	5,328人	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください
（確保した病床延数のうち、空床となった病床延数）	562床	

損益計算書に計上された新型コロナウイルス感染症患者の受入等に係る補助金の交付（見込）額	事業収益への計上額	事業外収益への計上額	特別利益への計上額
	円	1,023,568,300円	円

(3)新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いに基づく加算の算定実績について、該当するものに「1」を入力してください。

難病患者等入院診療加算	二類感染症患者入院診療加算	1	二類感染症患者療養環境加算1	二類感染症患者療養環境加算2
在宅患者支援病床初期加算	在宅患者支援療養病床初期加算		院内トリアージ実施料	1

【その他】

－ は選択肢からお選びください。－ は件数、金額等を入力してください。

院外処方	2	（選択肢：[0] 無 [1] 全面有 [2] 一部有）	DPC対象病院の指定状況	1	（選択肢：[0] 非該当 [1] 対象病院 [2] 準備病院）
救急告示の指定状況	1	（選択肢：[0] 無 [1] 有）	医療計画上の救急医療体制	2	（選択肢：[0] 非該当 [1] 一次救急 [2] 二次救急 [3] 三次救急）
救急の状況	救急車搬送件数	1,277件	うち入院件数	301件	
手術件数		521件			
検診・健診の状況	年間検診・健診件数	5,886件	検診・健診収益	80,906,550円	
人工透析の状況	年間延べ実施回数	3,010件	人工透析収益	102,004,280円	人工透析装置の台数
	うち入院	件	うち入院	円	10台
	うち外来	3,010件	うち外来	102,004,280円	

3．従事者の状況

従事者の状況について伺います。会計期間内の10月1日時点の状況を入力してください（小数点第一位まで）。派遣職員等の常勤換算には業務委託による従事者を含みます。

区分	常勤	非常勤	派遣職員等常勤換算	区分	常勤	非常勤	派遣職員等常勤換算
医 師	27.0	60.0	6.0	作 業 療 法 士	10.0		
歯 科 医 師	1.0	1.0	0.5	言 語 聴 覚 士	3.0		
薬 剤 師	10.0	3.0	1.5	視 能 訓 練 士	1.0	1.0	0.5
看 護 師	110.0	13.0	9.5	義 肢 装 具 士			
准 看 護 師	23.0	10.0	7.0	歯 科 衛 生 士	3.0		
助 産 師				歯 科 技 工 士			
管 理 栄 養 士	2.0			看 護 補 助 者	25.0	18.0	9.5
栄 養 士				M S W ・ P S W			
診 療 放 射 線 技 師	8.0			介 護 支 援 専 門 員			
診 療 X 線 技 師				調 理 員			
臨 床 検 査 技 師	3.0			事 務 職	25.0	10.0	6.5
衛 生 検 査 技 師				そ の 他	1.0		
臨 床 工 学 技 士				合 計	292.0	116.0	41.0
理 学 療 法 士	40.0						0.0

4．委託の状況

委託の状況について伺います。該当するもの全てに「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。業務委託を利用していない場合は、「委託なし」をお選びください。

検体検査	1	滅菌消毒	1	給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）	1	給食業務（一部委託）	患者搬送
医療機器の保守点検	1	医療用ガス供給設備の保守点検	1	器具類洗濯	1	院内清掃	1
会計委託業務		その他		委託なし			

給食委託費総額	35,421,106円	給食業務の委託を利用している場合は、給食委託費総額（年額）を入力してください。
---------	-------------	---